

防災アンケート

Answer 1

在宅避難のススメ

避難所など自宅以外に避難すると答えた人は約60%。でも、避難先は避難所だけではありません! 自宅の安全が確保できれば、自宅もあなたの避難所になります。そのためにも家具の転倒防止など、必要な備えをしておきましょう。

Answer 2

約3割の人が答えられない!

自分の避難場所がどこかすぐに答えられない人が約3割も! 日頃からしっかり備えていても、自宅が危険な状態になることがあります。家族全員で、災害時の避難場所を確認しておくことが大切です。

避難所はP8をcheck

『窓や食器棚の引き戸など、ガラスって意外と家の中にあるものなんだ。この前、(ついに貼るところがなくなって)ママの手鏡に貼ったら、必要ないって叱られちゃったよね...えへへ(笑)』

『パパったら! 手鏡の前に、トイレの窓もお願いね』

『むむむ、僕としたことが...』

飛散防止フィルム  
1枚 1000円程度から  
難易度(低)★

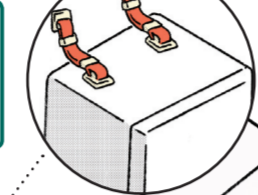


家訓四  
窓ガラスや鏡は  
飛散防止フィルムを  
貼るべし

『冷蔵庫を固定することは、ただ転倒から命を守るだけではなく、中の食料も守ることができるんだ。被災直後から食料に困るのは、びちくだった嫌だろ?』

『おなががすくのは絶対イヤ! ソナエアレバウレバウレ!』ってことだね

冷蔵庫の転倒防止  
1個 1000円程度から  
難易度(高)★★★



家訓三  
冷蔵庫は  
転倒防止器具で  
固定せよ

『災害時は通信規制がかかり、つながりにくくなるから、連絡方法と集合場所をあらかじめ決めておくことが大切。固定電話や携帯電話からでも繋がる災害用伝言ダイヤル「171」なら連絡がとりやすいよ』

『そういえばパパは、仕事中に大地震がきたら帰れるの?』

『パパが出勤中は、会社の指示に従うことになるからすぐには帰宅できないんだ。びちくは学校に残ってママの迎えを待つんだぞ。万が一のときに、家族が落ち合う集合場所はどこがいいかな?』

『安全な場所だったら、無敵ハウスのうちがいいよ!』

家訓二  
連絡方法や集合場所は  
あらかじめ  
家族で話し合うべし

避難時には必ず「ブレーカー」を落とす! または「感震ブレーカー」を設置

「自動ロック」は揺れを感知するとロックがかかる仕組み

非常時は「カセットコンロ」が大活躍

電球が割れるのを防ぐ「揺れ止め」

枕元には「懐中電灯」と「ホイッスル」

割れたガラスなどを踏まないよう寝室に「スリッパ」を用意

家訓五  
積み重ね家具は  
上下を固定せよ

『大地震の時は家具が倒れるのではなく、なんと家具が飛ぶんだ! やむを得ず、家具を重ねる場合は、しっかりと上下を連結して固定すべし!』

『背の高い家具や重い家具はL型金具や転倒防止ベルトで壁に固定するのが基本なんだ。でも壁に固定が難しい場合は、家具の上部に突っ張り棒を設置して家具を固定しよう。突っ張り棒のポイントは、天井面に板を渡し、点ではなく面で天井をうけるようにするとさらに強力になるんだ。あと、耐震マットも忘れずに敷いて!』

『さすがパパ! 今度、びちくにも教えて!』

突っ張り棒	1個 1000円程度から	難易度(低)★
耐震マット	1500円程度から(3cm四方×4枚入り)	難易度(低)★
L型金具	1個 150円程度から	難易度(中)★★
転倒防止ベルト	1本 1000円程度から	難易度(高)★★★

家訓一  
背の高い家具や  
食器棚などの重い家具は  
壁に固定すべし

「バスタブ」で生活用水をストック

簡易トイレのための「ポリ袋」と「新聞紙」

非常持出品を  
しっかり  
用意すべし

震災体験談

『まずは水。これだけは絶対に欠かせないよ』

『非常食は私に任せて! 缶詰コレクションの中から色々取り合わせてリュックに入れておいたわ。缶切りも入れたわよ』

『リュックは玄関の近くに置くのがポイントさ』

『持出品は家族構成によって違うから、必要な物を一度書き出すといいわね』

意外なものが役に立つ!? 非常持出品の便利なアイテム

- お風呂に入れず、ウエットティッシュで体を拭くだけで、さっぱりしてリフレッシュできました
- カセットコンロは、調理だけでなく、寒い季節には暖を取ることもでき、重宝しました
- プライバシーがない中、耳栓とアイマスクのおかげで周囲を気にせず安眠できました
- 新聞紙で簡易スリッパを作ったり、ビニール袋を重ねてコップを作るなど、アイデア次第で色々便利
- 病院は重病者やけが人が優先なので、普段から多めに準備していた常備薬が役に立ちました
- 布テープは、メモ帳代わりに文字を書いて貼ったり、けがをした患部の止血にも役立ちます

わが家の安全を  
チェック!

防災家流  
無敵ハウスの  
作り方



父 防災まもる  
ポケットには懐中電灯。ヘルメットはまもるモデルの特注品。防災を語れば止まらない、通称「ミスター防災」

母 防災そなえ  
自他共に認めるローリングストック狂(マニア)。300個を超える缶詰コレクションを夜な夜な眺めるのが至福の時間

子 防災びちく  
「ソナエアレバウレバウレ」が口ぐせ。宝物は父・まもるからもらったホイッスル。あだ名はミニ防災博士

家族を大地震から守るべく防災に命をかける、父・まもる。防災家のこだわりが詰まった「無敵ハウス」は近所でもちょっとした名物ハウス。倒壊対策の基本である、耐震診断はもちろん、家具の転倒対策にも余念がありません。母・そなえは、日々「ローリングストック法」(※1)で非常食を備え、子どものびちくは、「お菓子だって立派な非常食になる!」という、まもるの教えを守り、7歳にして備蓄の心得を早くもマスター。自分の身は自分で守る = 「自助」は防災対策の基本。日頃の備えや意識が生き残るための近道です。あなたの自宅は大丈夫? 今すぐ、防災家家訓をチェックして、地震に負けない「無敵ハウス」を目指しましょう! 価格の目安、取り付け難易度も参考に。

※注1 P6をcheck! 「ローリングストック法」についての解説があります

倒壊で命を落とさないために  
家の健康診断(耐震診断)を!

平成7(1995)年に発生した阪神淡路大震災で、命を落とした人の約80%が建物倒壊によるもの。10人中8人が建物の下敷きによる圧死などが原因で亡くなっています。倒壊で命を落とさないためにも家の健康診断(耐震診断)は受けたいもの。川崎市では、昭和56年5月以前の建築物を対象とした、耐震化へのさまざまな助成制度を用意しています。

- ▶木造住宅 「耐震診断士派遣制度、耐震改修助成制度」「耐震シェルター等設置助成制度」
- ▶分譲マンション 「予備診断制度、耐震改修助成制度」

問い合わせ先: まちづくり局建築管理課 TEL 044-200-3017